

様式 1

授業科目 児童福祉論 I

科目コード番号

【担当教員名】 豊田 保	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

児童家庭福祉についての基本的考え方と理念、歴史、実施体制、サービスの実際、援助論について理解する。

- 1 子どもを取り巻く社会状況と児童家庭福祉ニーズを理解する。
- 2 児童家庭福祉についての基本的考え方と理念について理解する。
- 3 児童家庭福祉の歴史を理解する。
- 4 児童家庭福祉の実施体制について理解する。
- 5 児童家庭福祉サービスの実際について理解する。
- 6 児童家庭への援助方法論を理解する。

<学習目標>

- 1 指定教科書の内容を把握し、理解する。
- 2 自分が関心をもつ分野について、関連図書によって理解をより深める。
- 3 児童家庭福祉に関するニュース記事等をスクラップし、現実的な理解を深める。

回数	学 習 の 主 題	学 習 内 容	学習方法
1	児童家庭福祉とは何か	現代社会の動向との関連で、児童家庭福祉のニーズを理解する	講義による (以下、同じ)
2	子どもを取り巻く社会状況	人口構造・家庭環境の変化と児童家庭福祉ニーズについて理解する	
3	同上	地域社会の変化と児童家庭福祉ニーズについて理解する	
4	児童福祉の理念	子どもの権利とその歴史について理解する	
5	児童福祉の歴史	欧米における児童（家庭）福祉の歴史を理解する	
6	同上	わが国における児童（家庭）福祉の歴史を理解する	
7	児童家庭福祉の実施体制	児童家庭福祉法制を理解する	
8	同上	児童家庭福祉機関・施設について理解する	
9	児童家庭福祉の実際	母子保健、児童健全育成サービスについて理解する	
10	同上	保育、児童養護サービスについて理解する	
11	同上	児童虐待、ひとり親福祉サービスについて理解する	
12	同上	障害児福祉サービスについて理解する	
13	児童家庭福祉援助	児童家庭福祉援助の基本的視点を理解する	
14	同上	児童家庭福祉におけるソーシャルワーカーの役割について理解する	

【評価方法】

講義への出席状況、期末試験又はレポートを総合して評価する。

【履修上の留意点】

最低でも、教科書を一度以上読了すること。

【使用図書】

教科書・参考書等	書 名 等	著 者 名	発 行 所	発行年・価格・その他
教科書	『児童福祉論』	松原康雄・山縣文治 編著	ミネルヴァ書房	2001年発行 2600円+税
参考書	社会福祉小六法	ミネルヴァ書房 編集部編	ミネルヴァ書房	1600円+税
	社会福祉基本用語集	用語集編集委員会編	ミネルヴァ書房	1500円+税
その他 (プリント等)	講義毎にプリントを配布する			